時事新報

器械力の電氣傳送

電氣の作用に由て器械力を遠方に傳送するの方法は十數年來西洋理學者の工風を凝して研究する所なれども愈よ之を實地に應用して利益を見るに至りしは僅々二三年來の事なり電力を傳送するに連續電流式と交番電流式と二樣の方法あり今爰に二者の區別を詳述するときは繁雜に渉るの恐あれば之を略して事の要領を記さんに連續式は壓力の低き電流を多量に傳送するものにして交番式は壓力の高き電流を少量に傳送するものと知る可し然るに多量の電流を送るには其割合に電線を太くするの必要あるを以て遠距離の傳送には是非とも交番式を用ひざる可らず其趣を喩へば水力を遠方に輸送するに成丈け壓力の高き水流を使用するときは管の直徑大なるを要せずして爲めに工費を省くの利益あるが如し左れば數年前交番式の發明世に公にせられたると共に電力傳送の問題は茲に面目を一新し爾來有名なるニコラ テスラ氏を始として數多の電氣學者は熱心に此問題を考究し其結果として遂に電力の傳送は愈よ實際に行ふて充分に利益ある事業なりと認定せらるゝに至れり目下此事業の最も盛に行はるゝは北米合衆國にして無數の電力會社は國中到る處に設立せられ中には非常の利益を收るものあり近着の米國電氣雜誌エレクツリカル レヴュユーに掲載せる左の記事を見れば以て彼國に於ける電氣事業の現況を窺ふに足る可し(此記事はスミスなる人の投書に係る)

現今合衆國には電氣を以て水力を遠方に傳送する會社甚だ多く中には既に數年間營業し來りたるものもあれども割合に世人の注意を惹くこと少なし余の知る所にては是等の會社は何れも相應の利益を得さるものなく或は年々の純益、資本金の五割に達するものさへあり今其中の重なるものを列記すれば

サン アントニオ電燈電力會社は數年間水力を三十哩の遠地に傳送しつゝあり該社は此程實地の試驗に據り同水力を九十哩の距離に傳送するみと甚だ容易なるを證明したり

ローリング フォーク電力會社は六年間、四哩の距離に水力を傳送せり

ゴールド キング鑛山會社は一千馬力を十哩の距離に傳送しつゝあり

スクロ會社は三百馬力を四哩の距離に傳送するみと愛に五年に及べり

レッドランド會社は過る一年間八百馬力を晝夜休まず七哩の距離に傳送し其間に修繕費として僅に十弗を支拂ひたるのみ

ポルトランドの電力會社はウヲラメット瀑布よりポルトランドまで(十五哩)水力を傳送しつゝあり其馬力は今記臆せず

クール ダレーン會社は過る三年間アイダホ州のパルク市に電燈及び電力を供給せり

スタンダード鑛山會社も過る三年間十三哩の距離に電燈及び電力を傳送せり

カリフォルニア州のスチッスルス山の頂上に在るカロ[illegible]ン鑛山會社は[illegible]たる山麓の湯布より電氣を以て光と力とを[illegible]四五年に發べき[illegible]山の如きは他の方法に由ては營業するみと[illegible]さるものなり

何は此外に同樣の實例は甚だ多しと雖も就中最も注意の價あるものは目下建設中なるナイアガラ及びスノカルミイ瀑布の水力傳送所なり此二つの傳送所は世界中最大の電氣工場にして開業の上は各五千乃至一萬五千馬力を二十三哩より二十六哩の距離に傳送するみとを期するものなり其開業は兩者共に本年中に在る可しスノカルミイ會社は其線路に接する某石炭山より鑛物引上及びポンプ運轉に要する力并に電燈の注文を受けたり該炭山の監督技師の說に電力を用ふるも入費は現在と異なるみとなくして一方に於ては火災及び熱き蒸汽管の危險全く跡を絕つの利益ありと云へり石炭を產出する鑛山に於てさへ電力の價、石炭よりも安價なりとあるからには電力傳送業の前途甚だ多望なりと云ふ可し

右の如き次第なれば電力傳送の事は最早や試驗の時期を離れ實際工業上の用に供す可きものたるみと事實に疑ふ可らず我國の如きは何處の山間を尋るも急流瀑布の多きみと殆んど世界無類なりとの評われども今日まで未だ之を利用するの企なきは其度量なりと云はざるを得ず世間の實業者にして今日速く適當の場所を撰んで電力傳送會社を設立したらんには或は一擢千金の利益もある可し我輩の敢て忠告する所なり

雜報

○京都雜信

四月九日特派員寺山啓介發

京都の繁昌

京都は博覽會開場以來各地方より入込むもの日毎に其數を增し市內の景況追々賑やかになり殊に數日前より氣候俄に暖氣を催し散步きに身內汗ばむほどになりたれば祇園の絲櫻先づ綻び早咲の山櫻繼で開き早き分は昨日今日夕風に散りて旅衣に降りかゝるもあり嵐山は最早見頃と云ひ嵯峨平野も疎く間に開くべし名所々々の花見も此處數日間のみとにして都の錦さぞや綺麗なるべしされば此氣候に促されて花見も序にしたき京見物博覽會見物の人々更に入込み北は丸太町より南は五條に至り西は寺町通りより東は一帶の山邊に至るまで旅人宿は雜踏云ばん方なく平生火鉢を抱へて客のなきを歎つ宿々もギッシリ詰りて日沒後は客を斷る程なり況して人にも知られたる宿屋は大抵貸切となり便利善き所を擇びて急に支店を拵へたる向きもあるよし日々博覽會開場の刻限よりは三條通りを初め町々を東に向いて行くもの引きも切らず道幅狹ければ車を通ずるだに餘程むづかし

人足を引くは花見ばかりにわらず此程より京都にあると有らゆる神社佛閣皆打揃ふて祭典開帳若しくは寶物展覽を許し又各團體の大なる者にては農事大會、佛敎大會、基督敎大會の如き或は已に開き或は將に開かんとし是等も隨分人足を引くに相違なし尙は是れより層なるは東本願寺の遷佛遷座式にして何事なくとも信徒の來會するもの多かるべきに氣候は好し時節は好し博覽會もあり三拍子揃ふてのみとなれば想像にも及ばぬはでの人數なるべく月末より擧行する平安遷都紀念祭は他國の者より市內の人々物狂はしきまで騷き立つべし左れば京都の繁昌混雜は今日を序開きとして今後四五十日間が最頂點なりと思はる然る有樣なれば旅宿の賃貸は自然の勢ひにして物によりては二割、三割、其餘も上騰したるものあるよしその中村益を尤も多く占むるは無論旅客に直接の關係ある各商業なるべし併しながらより繁榮署其他有志者の勸告もあり又少しく信用を重んずる各商店其他の營業者は後來の爲めを思ひ此際機に乘じて暴利を貪るみとなく却て薄利に甘んじてます〳〵信用を博せんと務むる向きも少からず兎も角も人口四十萬の市內に十萬の人數入込めば需用供給の釣合にて相當の利益は必定有るべき筈なれば此際旅客の便を圖り博覽會開會中は云ふまでもなく將來長く京都を思はしむるみと其土地柄より云ふも市內の人の大に注意すべきみとなるべし

東本願寺遷佛遷座式

豫て風評の高き東本願寺の遷佛遷座式はその順序行列の次第等委細考定中の由なるが先づ遷佛式は十五日を以て擧行し同日午後六時假堂より白輿に阿彌陀如來を安置し二十四人にて之を舁き門主光瑩師隨從し門末の僧侶前後三萬人程行列して境內空地を南へ新阿彌陀堂に至り讀經其他の式を擧ぐる筈なり十六日は供養會にして舊堂より門主を初め其他の行列は凡て遷佛式の行列に同じく高廊下の樣より新築大師堂の樣を廻はり阿彌陀堂に入りて其式を擧げ十七十八の兩日は一般の參詣人に式場を拜觀せしめ十九日は遷座式を擧行し假堂より白輿に見奠大師の影像を安置し是れ亦遷佛式同樣の行列にて大師堂に至り式を擧げ二十日は供養會にして同じく大寶殿より菊の門を鳥丸通りの道路に出で南方大師堂門より大師堂に着して式を擧ぐる筈二十一二十二、二十三の三日間は一般參詣人に拜觀を許す筈なりと信徒の多き本願寺のみとなれば右諸式執行の當日は市內の混雜非常なるべしと云ふ

五日間出品物約定濟概算高

府縣名	賣約開始之日	賣約概算金高	多數賣約之品
和歌山縣	四月五日	凡二千圓	綿ネル、漆品類
沖縄縣	同一日	同二千圓	織物、漆器類
埼玉縣	同四日	同二千五百圓	砂糖、織物、生絹類
群馬縣	同一日	同二千二百圓	桐生伊勢崎織物、生絹類
佐賀縣	同一日	同二千二百圓	今利燒陶器類
鹿兒嶋縣	同一日	同一千圓	織物、陶器類
宮城縣	同一日	同一千圓	仙臺平、埋木細工類
山梨縣	同二日	同九百圓	甲斐絹織物類
愛知縣	同二日	同七百八十圓	織物類
香川縣	同四日	同七百八十圓	籠細工、漆器類
石川縣	同一日	同七百十圓	九谷燒、漆器類
栃木縣	同七日	同七百十圓	織物類
大分縣	同五日	同七百十圓	蠟燭類
新潟縣	同五日	同五百卅圓	麻表、織物類
奈良縣	同五日	同五百圓	織物類
廣嶋縣	同二日	同五百圓	陶器、織物類
滋賀縣	同一日	同百五十圓	縮緬、麻布、眞綿類
岐阜縣	同二日	同百四百圓	陶器、織物類
三重縣	同二日	同三百圓	高古鏡、板板木龍類
富山縣	同二日	同二百五十圓	銅器類
福嶋縣	同一日	同二百圓	漆器類

工業部の審査官

第一部工業部の部長以下部員の姓名は左の如し

部長中賀義美

部員櫻田卓、阿部孝助、藤川敬助、河田景福、川村利三郎、本荘太郎、豊島直行、中澤三郎兵衛、富田鐵七、佐々木清七、村田經芳、武井勘右衛門、藤井恒久、酒井治兵衛、堀孝佐七、西村權左衛門、平嶋精一、石澤豊太、丹羽圭介、井上宣文、清水鶴、島居喜兵衛、田嶋喜、横田高等之助、齋藤時吳衛

○米國外務卿布哇公使を招還を請求す

米國の國務卿グレシャム氏は布哇政府に向て其公使を招還せんみとを請求したるが政府は布哇國の共和政體に大に不滿を抱きたれども今日の共和黨は[illegible]滅を喜びたれども今日の共和黨に在りては絕て介意せざるが如く[illegible]るの氣色さへ往々見ゆるみとあり[illegible]トン氏は自然米國現政府を好さ[illegible]は外交の秘密に關する事共を公[illegible]の方針に違感會釋なく新聞雜誌[illegible]たるの品格を保たざるのみならず[illegible]妙からざる妨害を與ふるを以て[illegible]サルストン氏の招還を布哇政府に[illegible]く國安を害するものなりと認め[illegible]するの外策なかるべしと次に西[illegible]カ騷事件に就き類りにグレシャ[illegible]は又此運命に遭遇するやも計り[illegible]

○故石黑步兵大尉

此に掲ぐる人は去る三月五日牛莊[illegible]偵察に赴きたる途中三臺子に於て[illegible]となり奮戰健鬪終に名譽の戰死[illegible]大尉石黑重熙氏の肖像なり今其略[illegible]愛知縣出身の士にして人と爲り[illegible]る明治四年九月初めて陸軍二等[illegible]を命ぜられ同十年には少尉候補[illegible]に從ひ勇戰創を被り亂平らぐに及[illegible]尉に任じ尙は慰勞として金員を[illegible]

任して去る二十五年十一月步兵[illegible]隊長となる昨年八月日清事起り[illegible]大尉も亦從軍を命ぜられ爾來諸[illegible]から少遑に身を以て義軍に殉す[illegible]生義氣に富み交友甚だ厚かりしと[illegible]歌若くは書劍を置族に寄せて之を[illegible]らしと又た大尉は常に文字を愛し[illegible]

去年今日別先考

寒風蕭々歎心魂

夜もすがら過ぎにし父の[illegible]

あたの廣野に[illegible]

○字品の住民と[illegible]

入日登の廣嶋特報に曰く字品は[illegible]ば若しもコレラの如き惡疫病の[illegible]惡樣の遠なる實に恐るべきもの[illegible]頃一人の[illegible]似コレラ患者同地に[illegible]